

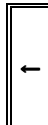
Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

# 評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ル・ケレス宮の沢ザ・フロント	階数	地上15F
建設地	札幌市西区西町北20丁目9番、10番、11番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域、準工業	平均居住人員	244人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017/11/31 予定	評価の実施日	2016年6月1日
敷地面積	2,216㎡	作成者	
建築面積	543㎡	確認日	2016年6月1日
延床面積	5,750㎡	確認者	

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

### 3 設計上の配慮事項

総合	A 省エネルギー
交通、生活の利便性の高い立地である為、近隣建物は高層化している。周辺建物との調和を図るだけでなく、中心市街の温暖低減の為、基準以上の緑化を図り、潤いある街づくりをコンセプトとした。	外壁、屋根、開口部の高断熱化、設備機器の高効率化(潜熱回収型給湯暖房器、LED照明)を図った。
B 省資源等	D 雪処理
節水型便器、節湯水栓、止水機能付きシャワー、潜熱回収型給湯暖房器を取り入れる。又、照明ランプはLEDとする。	敷地内屋外駐車場、通路部分はすべて融雪する。
C 緑化	
基準以上の緑化を図り、中高木の樹種を適切に配置する事により地表面の温度上昇を抑制する。又、四季の変化を楽しめる植樹を計画した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される